

第39回大会

中国・四国・九州地区

生涯教育実践研究交流会



- 期 日 令和4年5月21日(土)～22日(日)
- 会 場 福岡県立社会教育総合センター
- 主 催 福岡県教育委員会
日本生涯教育学会九州支部
- 主 管 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第39回大会実行委員会
福岡県立社会教育総合センター

テーマ 『大学・企業』と繋がる社会教育の「未来の必要」 ～コロナ禍を乗り越え地域の未来を拓く～

春が来て、花々が咲き誇る頃になると、我々社会教育の仲間は「実践の友に会える!」と「刮目して」篠栗の「交流会」に集いました。

ところが、2年前に発生した新型コロナウイルス感染症は立ち所に世界中に蔓延し、我が国においても地域活動等に支障をもたらしています。

我々の集う「交流会」も2度(令和2・3年度)、延期になってしまいました。しかし今、コロナ対策の進歩・発展、治療薬の開発等で世界中がコロナ感染症に対する規制緩和の方向に向かっています。負けてはなりません。

そこで、「第39回中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会」を、この度(令和4年)開催することになりました。各県の実行委員・関係各位の皆様にご心から感謝申し上げます。

今回も各県実行委員のお世話により24の実践事例を推薦いただきました。各県実行委員、大会事務局・関係の皆様方に重ねて感謝申し上げます。

さて、「地域ブラブラ取材」をしていますと、今地域は「人口減少、高齢化、グローバル化、貧困、つながりの希薄化、地方財政の悪化」等に加えて、コロナ禍に伴う多様化・複雑化した課題に直面しています。

一方、青年団・婦人会の復活(高知)、NPOの活躍(北九州)、企業との連携(宮崎)、大学と地域との協働等の実践事例が多く見られるようになりました。今こそ、地域を担う社会教育もこの課題解決の実践事例開発等が求められます。

今後、これらの課題を解決するためには、地域活動の中核となっている多様な分野の人々との連携・協働が必要不可欠です。すなわち、地域総ぐるみで総合的に「組み合う」(連携・協力・協働する)ことが必要なのです。その、連携・協働の手法を相互に発表し合う場がこの交流会であると確信します。刮目して素晴らしい事例に出会いましょう。コロナ対策に留意しながら、参加仲間と相互交流・向上致しましょう。

本会をご支援・ご指導くださいます福岡県教育委員会、福岡県立社会教育総合センターに心より厚く感謝申し上げます。

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 代表世話人 古市 勝也

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第39回大会 実行委員

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| 田中 恒治(鳥取県)鳥取県教育委員会事務局西部教育局 | 松永 築(熊本県)熊本県博物館ネットワークセンター |
| 原田 尚(島根県)島根県出雲市立灘分小学校 | 三角 幸三(熊本県)CPDI 代表 |
| 澤江 健(島根県)島根県益田教育事務所 | 山平 敏夫(熊本県)熊本県教育庁市町村教育局社会教育課 |
| 吉岡 康行(広島県)広島県海田町立海田西小学校 | 岡田 正彦(大分県)国立大学法人 大分大学 |
| 杉本 克之(広島県)広島県世羅町立世羅西中学校 | 竹内 一久(宮崎県)宮崎県諸塚村教育委員会 |
| 正留 律雄(広島県)広島県大野子ども体験活動・ボランティア活動支援センター | 飯野 小巻(宮崎県)宮崎県延岡市教育委員会社会教育課 |
| 東川 絵葉(岡山県)岡山県倉敷市立第四福田小学校 | 伊藤 太(鹿児島県)鹿児島県立青少年研修センター |
| 河本 潤(岡山県)岡山県生涯学習センター振興課 | 青谷有美代(鹿児島県)鹿児島県立種子島中央高等学校 |
| 赤田 博夫(山口県)(公財)山口県人づくり財団 県民学習部 | 鶴木 孝夫(鹿児島県)かごしま県民大学中央センター |
| 矢田部敏夫(山口県)山口県下関市立豊北中学校 | 東原 辰巳(鹿児島県)薩摩川内市教育委員会 中央公民館 |
| 坂井 孝吏(高知県)高知県安芸市立安芸中学校 | 大城喜江子(沖縄県)沖縄県浦添市立森の子児童センター |
| 濱崎 博志(高知県)NPO法人高知県生涯学習支援センター | 市村 智子(福岡県)福岡県教育庁教育振興部社会教育課 |
| 中尾 治司(愛媛県)愛媛県伊予市立佐礼谷小学校 | 森本 精造(福岡県)元飯塚市教育委員会 |
| 岩野 泰典(徳島県)徳島県立阿南光高等学校 | 平川 真一(福岡県)福岡県立社会教育総合センター |
| 関 弘紹(佐賀県)佐賀県立生涯学習センター(アバンセ) | 古市 勝也(福岡県)九州共立大学 |
| 鴻上 哲也(佐賀県)佐賀県伊万里市民図書館 | 正平 辰男(福岡県)飯塚市庄内生活体験学校 |
| 内川実佐子(佐賀県)特定非営利活動法人 空家・空地活用サポート SAGA | 三浦清一郎(福岡県)生涯学習・社会システム研究者 |
| 中野 大介(長崎県)長崎県教育庁生涯学習課 | 紫園 来未(福岡県)オフィス しおん |
| 棕本 博志(長崎県)長崎市立長浦小学校 | 山田 明(福岡県)九州共立大学 |
| 武次 寛(長崎県)長崎県社会教育支援 草社の会 | 大島 まな(福岡県)九州女子大学 |

Time Schedule 1st day 5.21 Sat.

9:30	10:15	10:45	12:40	13:00	13:45	16:00
受付	開会式	実践発表①	昼食	受付	実践発表②	
玄関ロビー	2F 講堂	第1会場:2F 第4研修室 第2会場:2F 自由研修室 第3会場:4F 視聴覚室 第4会場:4F 大研修室			第1会場:2F 第4研修室 第2会場:2F 自由研修室 第3会場:4F 視聴覚室 第4会場:4F 大研修室	

16:30	17:00	18:00	20:00
移動休憩	特別報告 「気を抜かず、「前期」楽せず、がんばれば、 健康寿命は「後期」までもつ —後期高齢者の健康原則— 報告者 三浦 清一郎 氏 (月刊生涯学習通信「風の便り」編集長) (2F 講堂) フリータイム	移動休憩	第39回大会交流会 (2F 体育館)

第39回大会 交流会

■日時：1日目の夜 18:00～20:00 ■場所：2F 体育館

事例発表の方々や参加者の皆さん、各県の実行委員会の皆さんが一堂に会して、交流を深める場を設けています。

なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策を講じて、規模を縮小して以下の内容で実施します。

食事(弁当提供)、県の紹介、歓談(名刺交換)、オークション

また、オークションの売り上げは次年度の運営費の一部とさせていただきますので、ご了承ください。

Time Schedule 2nd day 5.22 Sun.

8:30	9:00	11:30	12:00
受付	特別企画「大学・企業」と繋がる社会教育の「未来の必要」 ～地域づくり・人づくりへの役割～ 【第1部】「生涯教育と企業の連携はいかにして生まれ、 社会教育の未来をどう変えるか?～宮崎モデルの可能性～」 登壇者 黒木 政信 氏(一般社団法人ひなたネットワーク会長) 枝元 倫介 氏(株式会社ホテルマリックス会長) 聞き手 三浦 清一郎(月刊生涯学習通信「風の便り」編集長) 大島 まな(九州女子大学教授) 【第2部】「大学と自治体が始めた「地域連携協定」は、 両者に何を生み、どう変えるのか?」 登壇者 門司 晋 氏(福岡県岡垣町長) 山田 明 氏(九州共立大学教授) 聞き手 森本 精造(元飯塚市教育委員会教育長) 古市 勝也(九州共立大学名誉教授)	総括 閉会式	昼食
玄関ロビー	2F 講堂	2F 講堂	

わたしの まちの ポスター展

■日時：5月21日・22日 ■場所：1F 交流ホール

大会開催中、参加者の皆さんが携わられている「むらおこし」「まちづくり」「ひとづくり」のイベントのポスターを掲示しています。どうぞ、ご覧ください。



第1会場●2F 第4研修室

■司 会／古藤 康則 島根県立東部社会教育研修センター 課長
須貝 遊 佐賀県県民環境部まなび課 係長

分科会の進め方

10:45~10:50

1 地域の人材獲得・育成のエコシステム ～伊万里の地域人材育成の挑戦～

10:50~11:20

いわたて ただすけ(佐賀県伊万里市) 伊万里の求人運営事務局長・まちの大学いまり 代表

2020(令和2)年スタートの、伊万里市内の大手企業8社と伊万里市(企業誘致・商工振興課)を会員とする任意団体「伊万里の求人」と「まちの大学いまり」の実践活動である。

郷土で活躍する優秀な人材を獲得・育成するためのノウハウ等を外部組織「伊万里の求人」に集約し、学生には郷育を、社会人には郷土に貢献する教育を継続的に提供することを目的としている。注目は、企業と行政及び高校の相互依存のエコシステムである。

2 竹矢のわけもんやらこい! ～若い人たちの力で住み続けたいまちづくりを～

11:30~12:00

山崎 祥子(島根県松江市八幡町) 島根県松江市東出雲公民館 主事

2018(平成30)年度に始まった本事業のきっかけは、市内で住み続けたくないまちワースト1になったことである。どんな人たちにとって住み続けたくないのか、それはなぜか、という調査に取り組んできた館長と青少年育成会長の「若者会交流会」復活という二人のキーマンの声を背景に事業化した。

内容は、「若者会交流会」で幅広い地域の人(若者会、PTA、各種団体等)に、参加型の対話を提供するプログラムである。効果として、参加者同士が地域のことを語り合うことの満足感の醸成、各町内の若者会同士の交流事業スタート、住民による地域福祉計画への参画等がある。

3 防災・減災に向けた私たちの取組とその後

12:10~12:40

星野 洋子(福岡県朝倉市) NPO法人住みよいあさくらをつくる風おこしの会 理事長

「住みよいあさくらをつくる風おこしの会」は、行政と協働して地域の生活課題を解決するための活動と学習に関する事業を行い、男女共同参画の住みよい地域づくりに寄与することを目的として活動している。

2017(平成29)年度の九州北部豪雨による被災経験から、「手をつなごう朝倉防災プロジェクト」を企画し、「実践!命を守る防災力講座」等、市民向けの講座を行い、防災意識の向上を図っている。また近年は、ジェンダー平等の視点から、多様性を認めあう地域づくりへの取り組みを行っている。



第2会場 ● 2F 自由研修室

司会 / 山口 綾子 佐賀県立生涯学習センター 企画員
庄司 啓 福岡県教育庁北筑後教育事務所 主任社会教育主事

分科会の進め方 10:45~10:50

1 おごおりウィークエンドアドベンチャー 10:50~11:20

青木 義明(山口県山口市) おごおりウィークエンドアドベンチャー実行委員会 事務局

キャンプやスキー等の得意分野を持ったボランティアによる実行委員会方式をとっており、小学校4~6年生を対象とした生活・自然・社会体験活動を行っている。

さらに、高校生や大学生もボランティアとして参加する多世代を巻き込んだ活動になっている。「キャンプ」「スキー教室」「サイクリング」等の活動で、学校や学年を越えた幅広い交流を促進し、子ども達の主体性や協調性、生き生きとした感性を育む活動になっている。

2 誰もが安心して平等に住み続けられるまちづくりを目指して
~CSOを核としたコレクティブインパクトで様々な居場所を確保~ 11:30~12:00

塚原 功(佐賀県) NPO法人 空家・空地活用サポートSAGA代表理事

まちなかの老舗である創業140年の豆腐店の廃業に伴い、3階建て住居付き店舗が放置された。建物を借り上げ、11の市民活動団体が入居するシェアオフィスに改装した。

さらにこの春、コミュニティスペースとして利用していた1階部分を地域の方が気軽に立ち寄れるテラスに、また利用頻度が少なかった2階和室、キッチン、3階インナーバルコニーを子どもと子育て世代のお母さんが集える居場所に改装した。

3 復活!南部町新☆青年団のおもしろ活動
~自分たちのみらいは自分たちの手で~ 12:10~12:40

亀尾 勇志(鳥取県南部町) 鳥取県南部町新☆青年団「へんとづくり」
大下 真史(鳥取県南部町) 鳥取県南部町教育委員会 社会教育主事

2017(平成29)年、南部町高校生サークルの卒業生と成人式実行委員会を中心に発足。中学卒業後、高校生サークルから青年団活動へ。地域と若者の継続的なつながりが見え、会員、活動数、参加者数も倍増し、沢山の若者が直接かかわる成人式ができつつある。

成人式では自作のもち米でもちつき&もちまきを実施。町外・県外に進学している学生に、南部町の給食メニューをモチーフにしたレシピ本を作成送付。また子ども会のシニアサークルの位置づけもある。徳島県石井町青年団や、東大生とのオンライン交流も行っている。月1回の定例会で活動の計画を立てている。



第3会場 ● 4F 視聴覚室

■司 会／永田 春美 長崎県教育庁生涯学習課 係長
江崎 義朗 福岡県教育庁北九州教育事務所 主任社会教育主事

分科会の進め方 10:45~10:50

1 新しい生活様式に対応した子どもたちの体験活動の創出事例と、「親になる前の青年層」や「就職氷河期世代」の学びの必要性 10:50~11:20

大神 健治(福岡県古賀市) 一般社団法人STANDARD KOGA 代表理事
井手口 誠(福岡県古賀市) 一般社団法人STANDARD KOGA コーディネーター

当法人は2020(令和2)年度に文部科学省「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」を受託し、古賀市を拠点に福岡県そして大分県・佐賀県・長崎県さらには山口県で「新しい生活様式に対応した、子どもたちの屋外での体験活動」の創出に取り組んだ。

これを契機に出会った子どもたちのストレス、学校教育の現場の疲弊、保護者の皆様の困惑、行政職員さんたちの情熱、社会教育・生涯学習の重要性について報告を行う。

2 地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの効果的な仕組づくり ~中津市今津校区の協働の取り組みから~ 11:30~12:00

金丸 隆(大分県中津市) 中津市教育委員会社会教育課 今津コミュニティーセンター 館長

中津市初の「今津校区コミュニティ・スクール」(設立:2019(平成31)年4月)の仕組みづくりの発表。準備段階(2018(平成30)年)から「校区ネットワーク会議(地域学校協働本部)」と「いきいき今津まちづくり協議会」等が、学校運営協議会と地域学校協働本部の効果的な位置づけ、関係性について協議している。

発足後、学校と学校運営協議会をまちづくり協議会が下支えし、地域住民も学校の教職員も当事者意識を持った協働活動が生まれている。

3 「ぼくのまちわたしのまちプロジェクト」 12:10~12:40

松本 雅知(広島県廿日市市) 廿日市市串戸市民センター 所長
福松 拓誠(広島県廿日市市) 廿日市市串戸市民センター 社会教育担当

市民センター(地区自治協議会、関係団体)を中核にした、若者たちの「居場所づくり」活動。このプロジェクトでは、子どもを主役に、世代間交流と次世代育成を大きなテーマとして実施している。活動形態は、学校・大学との連携や地域関係団体との連携・協働の取組。財源は、補助事業獲得費や参加者負担金等。

市民センターを拠点とし、市民を主体とした「まちづくり」活動が「シビックプライド(都市に対する市民の誇り)」「自己肯定感の育み」や「地域の人材発掘・育成」に繋がっている。



第4会場 ● 4F 大研修室

司 会 / 今井 博志 愛媛のおやし井戸端会議 副会長
河野 都 元北九州市市民スポーツ局生涯学習総合センター 社会教育主事

分科会の進め方 10:45~10:50

1 太鼓を仲立ちに人づくり!まちづくり! 10:50~11:20

田中 繁幸(愛媛県宇和島市津島町) 宇和島市社会教育委員・津島太鼓集団「雅」初代会長

3つの太鼓集団が、相互に支援し合い支え合って進めている地域文化の後継者育成活動である。津島太鼓集団「雅」(高校生から大人まで)を中心に、「泉風太鼓」(中学生)・「雅キッズ」(保幼から中学生)の3つの太鼓集団が織りなす活動が、人を育て地域のネットワークを作っている。

参加している子どもたちは、集中力、達成感、自己肯定感、感謝、後始末の大切さを学んでいる。社会に出たときに役立てられ、人格形成にもつながることを願い指導している。

2 みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり
～演劇未経験者が劇団を結成し、地域福祉活動の担い手増加に挑む～ 11:30~12:00

梶 初美(福岡県北九州市) ふくし劇団こくら南ブチボ 事務局

社会環境が急速に変化する中、公助だけではなく地域福祉活動の担い手を増加させることは喫緊の課題である。2007(平成19)年2月に地域福祉活動に深く関わってきた女性達が、劇団を結成した。

現在は男性も加わり、地域福祉活動の具体的な実践事例を、演劇を通じて分かり易く多くの市民に広めることにより、高齢者等も含めた全ての市民が地域福祉活動の担い手となる「支え合いのまちづくり」が実現することを目指している。

3 スポーツによる地方創生 ～つの職育プロジェクトの挑戦～ 12:10~12:40

石原 英明(宮崎県都農町) 一般社団法人ツノスポーツコミッション 代表理事

スポーツを軸とした地方創生を目指して2019(令和元)年に「一般社団法人ツノスポーツコミッション」を設立。2020(令和2)年には、Jリーグ入りを目指すサッカークラブ「ヴェロスクロノス都農(旧名称J.FC MIYAZAKI)」を都農町に誘致成功。都農町に関係者約70名が一気に移住。

また、都農町と株式会社J.FC宮崎とともに「つの職育プロジェクト」に関する連携協定を締結し、三位一体となってお互いを補完し合いながら人口1万人の小さな町の様々な地域課題の解決に取り組む。さらにツノスポーツアカデミーを設立し、若者を地域社会で研き育む環境を整備、移住定住につながる仕組み作りを行っている。

第1会場 ● 2F 第4研修室

■ 司 会 / 河本 潤 岡山県生涯学習センター 副参事(生涯学習推進担当)
野田 恭子 熊本県教育庁市町村教育局社会教育課 社会教育主事

分科会の進め方

13:45~13:50

1 中高生と社会人の対話による学びを創出する「三四郎の学校」の挑戦!

13:50~14:20

日賀 優一(福岡県みやこ町) 三四郎の学校 事務局

「三四郎の学校」では、2013(平成25)年から、みやこ町の公民館等を活用し、中高生と大人が対話を通して出逢い、自分、社会、未来について語り合い、考える「地域の学び場」を展開している。

多くの社会人ボランティアの参加があり、異年齢集団による対話の場が実現している。また、対話の重要性を認識、実践できるワークショップを展開している。

2 令和2年7月豪雨における災害支援の連携手法

～NPOと社会教育行政等との連携による被災地の子ども支援～

14:30~15:00

井下友梨花(熊本県) 認定NPO法人カタリバ カタリバパーク責任者

清永 淳子(熊本県) 熊本県教育庁市町村教育局社会教育課 社会教育主事

NPO法人と社会教育行政等との連携による、被災地の子どもたちに対する支援の発表。注目は、スピード感と連携の手法。2020(令和2)年7月4日、熊本県南部は未曾有の豪雨被害を受けたが、その現場にいち早く駆けつけたのはNPO法人カタリバだった。

一方、熊本県教育庁は、被災地の子どもたちに対する支援活動を行うため、既存のボランティアチームに加え、大学生等に対して新規募集をかけて多くのチームを派遣した。カタリバ、被災地教委、県社会教育課、ボランティアチーム等と連携を図った支援活動の一例である。

ティータイム

15:00~15:30

3 いい出会いは、いい人生をつくる～

～「中高生×大学生×地域の大人」の交流プログラム～

15:30~16:00

和泉 克軌(岡山県) NPO法人だっぴ 鳥取支部代表・(一社)鳥取県地域教育推進局スタッフ

地域のつながりの希薄化、若者の自己肯定感の低下、将来に対する不安の増加といった社会問題を解決するため、2010(平成22)年より活動を開始する。地域、学校、企業、行政と連携しながら、年間30件、延べ4,000人の若者が参加する「だっぴイベント」を開催。

岡山県内の中学校・高等学校を主な活動の場とし、「一人ひとりの若者が人とのつながりの中で自分らしく生きられる社会」をつくるため、「自分は何者か?」という問いへのヒントとなる出会いの場を創造している。

1st day
PM

第2会場●2F 自由研修室

■司 会／平川 崇 熊本県教育庁市町村教育局社会教育課 社会教育主事
松尾まゆみ 社会教育士
元北九州市市民文化スポーツ局生涯学習センター 社会教育主事

分科会の進め方

13:45~13:50

1 熊本地震復興支援活動とSDGs(持続可能な開発目標)の推進

13:50~14:20

神田みゆき(熊本県熊本市近郊) NPO法人SDGs Association熊本 代表理事・なないろネットワーク熊本 代表

2016(平成28)年4月14日夜および16日未明に、熊本県と大分県の両県で震度7を観測する地震が発生した。地震発生2か月前に、ボランティアのネットワークをつくるために「なないろネットワーク熊本」を立ち上げていたため、すぐに支援活動を開始できた。ボランティアのコーディネートを行う中で「SDGs」を知る。

現在はSDGsをキーワードとして、人と人をつなぎ、ゆるやかなネットワークをつくりながら、子どもたちの未来を守る活動に取り組んでいる。

2 小学校教員発 ~悩めるお母さんを元気にする子育て支援~

14:30~15:00

中村 隆(福岡県粕屋町) かすや子育て研究会・かぶとむし 代表

「子育て中の親や子どもを育てている教員として、地域の親と一緒に学びたい」という願いから、小学校の先生たちが集まって、2013(平成25)年から子育て支援をメインに始めたサークル。

地域に開かれ、教師・保育士・地域住民等で構成されたサークルで主要人数は約20名、文部科学省の家庭教育支援チームにも登録されている。

ティータイム

15:00~15:30

3 若者支援のはちみつ作り「ブンブンプロジェクト」

15:30~16:00

宮城仁太郎(沖縄県浦添市) 一般社団法人まちづくりうらそえ浦添市宮城っ子児童センター

引きこもり者の「はちみつを作りたい」の一言から活動が始まった。

活動主体は若者支援サークルBee freeで、目的は①引きこもり等当事者の出口支援、②地域の担い手不足の解消、③福祉教育の素材としての展開。

主な活動は巣箱の管理で巣箱設置場所周辺の清掃や同様の悩みを抱える若者のピアサポート等も行っている。当事者からは「居場所ができて前向きになれた」という話も聞けるようになってきた。自治会や企業、民生委員らの協力を得て事業を運営している。

1st day
PM

第3会場 ● 4F 視聴覚室

■司 会 / 上野 敦子 井関にここクラブ 主任支援員
阿知須地域協育ネット 地域学校協働活動推進員
谷口 善郎 鹿児島県南九州市教育委員会社会教育課 参事兼社会教育係長

分科会の進め方

13:45~13:50

1 歴史遺産を活かした地域づくり ～天正遣欧使節出生の地から～

13:50~14:20

岸本 徹也(長崎県西海市) 西海市郷土史研究会 事務局長

長崎県西海市西海町の中浦地区は、天正遣欧使節中浦ジュリアンの出生地とされている。長崎県指定史跡となるまで地元では中浦ジュリアンについて知る者はいなかった。今では中浦に顕彰碑や記念公園が完成し、講演会等の各種行事が開催されて広く紹介されるようになったが、多くの課題も抱えている。

活動を支えているのは、西海ガイドの会、西海市郷土史研究会、中浦公民館である。ジュリアンを顕彰し語り継いでいくための活動の現状を報告する。

2 自然と歴史の学びの郷整備・活動 ～再生・維持から創造へ～

14:30~15:00

柴田 俊彦(山口県下関市豊田町) 榎原ゆうあい会 事務局長

定年帰郷以来15年間取組んでいる地域づくりの実践発表。どのような理念・思いで中山間地の課題に向き合い、どのような手順・手法で取組んできたかが、この発表のポイント。

「プランナー養成講座」受講 - 「定年・帰郷」 - 「地域づくり団体『榎原ゆうあい会』の立上げ」 - 「学びの郷づくり5ヵ年計画」の推進 - 地域の持続に向けて地域資源の再生、維持からの創造へ。今後の地域づくりの展望も楽しみである。

ティータイム

15:00~15:30

3 ロケットと共に ～宇宙にいちばん近いまち南種子町の取組～

15:30~16:00

茅切 正俊(鹿児島県南種子町) 南種子町教育委員会社会教育課 社会教育主事

南種子町では、①「宇宙や科学を身近に感じ興味をもつ子どもたちを育てる」、②「子ども会会員や子ども会育成者が伝統の正月行事である凧作り・凧あげを通して交流を図り、地域・家庭・学校の連携を深める」ことを目的に、2つの事業を実施している。

2018(平成30)年には、スペースアカデミー(人工衛星の実物見学など)が事業化され、凧あげ大会は28回目を迎えた。宇宙開発関連企業(JAXA、三菱重工MILSET)や星空に詳しい地元住民、各社会教育関係団体が協働している。成果としては、子どもたちの大きな感動や高い事業評価、子ども会活動の充実につながっている。今後は、親子参加型プログラムの導入や、大人のさらなる参加協力を呼び掛けていきたいと考えている。

第4会場●4F 大研修室

■司 会／久保田啓子 山口県長門市教育委員会 社会教育指導員
藤岡 忠司 福岡県教育庁南筑後教育事務所 主任社会教育主事

分科会の進め方

13:45~13:50

1 コミュニティ・スクールのその先へ

13:50~14:20

前田 亜樹(山口県下関市) Kananowa 代表

難病のため35歳という若さで亡くなられた教師、荒木佳奈さんの命のバトンを受け取り、2016(平成28)年6月「Kananowa」を設立。命の大切さを伝えるとともに、佳奈さんの教育への想いを、地域・社会の中でかたちにしていくために、学校・家庭・地域が協力して行う照子親(てらこや)活動を行っている。

主な活動としては、「自然体験学習」「夏休みのお勉強会」「夜のお勉強会」などがある。また「地域連携カリキュラム」を活用した授業作りなども積極的に取り組んでいる。

2 「ながさきファミリープログラム」で学ぶ楽しい子育て

14:30~15:00

永田しのぶ(長崎県) ながさきファミリープログラムファシリテータの会 会長

長崎県では、家庭教育支援事業として、子育ての不安や悩み等について参加者同士が楽しい雰囲気話し合う子育て学習プログラム「ながさきファミリープログラム」を推進している。

本会では、その進行を務めるながさきファミリープログラムファシリテーターが自主的に集い、研修をしたり交流を行ったり情報交換をすることで、ファシリテーターの資質向上を図っている。また、長崎県教育庁生涯学習課と連携を図り、県内全地域において、「ながさきファミリープログラム」の普及を目指している。

ティータイム

15:00~15:30

3 「学校の学び」と「地域の実践」の往還

～益田をしあわせなまちにしようプロジェクトによる「社会に開かれた教育課程」の実践～

15:30~16:00

谷上 元織(島根県益田市) 益田市立益田小学校教諭
三浦 裕美(島根県益田市) 益田公民館 主事

今!注目の「社会に開かれた教育課程」の実践報告。学校の学び(総合的な学習の時間の「益田をもっとしあわせなまちにしよう」)で児童から上がってきた提案を、学校だけで完結させず、「公民館」が受けて、地域の課題解決・実践として学校外の実践につながるようにプロジェクト化している。

その活動は「益田小学校」と「益田公民館」を中核にして、地域の有志、保護者、近隣の大学生達とともに創られる。「学校での授業で全員が学び、地域において有志が実践」の手順・手法は今後の参考モデルである。

1st day
5.21 Sat.

第39回大会 特別報告

■時 間 / 16:30 ~ 17:00 ■会 場 / 2F 講堂

テーマ●「気を抜かず、『前期』楽しめず、がんばれば、
健康寿命は『後期』までもつー後期高齢者の健康原則ー」

報告者：三浦清一郎

2nd day
5.22 Sun.

第39回大会 特別企画

「大学・企業」と繋がる社会教育の「未来の必要」～地域づくり・人づくりへの役割～

■時 間 / 9:00 ~ 11:30 ■会 場 / 2F 講堂

第1部：9:00～10:10

<インタビュー・ダイアログ>

「生涯教育と企業の連携はいかにして生まれ、社会教育の未来をどう変えるか?～宮崎モデルの可能性～」

登壇者：一般社団法人ひなたネットワーク会長 **黒木 政信**
株式会社ホテルマリックス会長 **枝元 倫介**
聞き手：月刊生涯学習通信『風の便り』編集長 **三浦清一郎**
九州女子大学教授 **大島 まな**

<登壇者プロフィール>



●**黒木 政信** 一般社団法人ひなたネットワーク会長、宮崎県PTA連合会事務局長、綾町教育委員

公立小学校教員として15年間勤めた後、行政機関(社会教育主事、指導主事、県教育庁生涯学習課副主幹・主幹、課長補佐、人権同和教育室室長)や学校(教頭、校長)に勤務。退職後3年間、公立大学地域研究センター事務長として勤めた後、宮崎県PTA連合会事務局へ。



●**枝元 倫介** 株式会社ホテルマリックス会長、一般社団法人ひなたネットワーク副会長

県立宮崎南高等学校同窓会第13代会長(H10～H23)。宮崎県防犯協会連合会理事(H22～)。宮崎防火管理等協議会会長(H6～H30)。(株)ホテルマリックス第4代社長(H4～R2)。企業生き残りのため、①社員第一主義に徹し、②不況時に給与・賞与支給、昇給実施、解雇しない、③経営を幹部に任せ切る、責任は自分が全て負う。学校、先生、母、妻への報恩。

<聞き手>



●**三浦清一郎** 生涯学習通信『風の便り』編集長

国立社会教育研修所、文部省、福岡教育大学、シラキューズ大学、九州女子大学などを経て、現在月刊生涯学習通信『風の便り』編集長。近年は執筆活動や研究論文の発表に注力し、著書・共著に『子どもに豊かな放課後を』、『明日の学童保育』、『国際結婚の社会学』、『詩歌自分史のすすめ』、『消滅自治体は都会の子が救う』、『隠居文化と戦え』(すべて、日本地域社会研究所)などがある。



●**大島 まな** 九州女子大学教授、九州女子大学・九州女子短期大学地域教育実践研究センター所長

九州大学教育学部社会教育講座、九州女子短期大学等を経て現職。これまで、福岡県総合計画審議会委員、福岡県社会教育委員、北九州市社会教育委員、福岡県青少年問題協議会専門委員等を務める。共著に『子どもに豊かな放課後を』、『社会教育の核心』などがある。



第2部：10：20～11：30

〈インタビュー・ダイアログ〉

「大学と自治体が始めた『地域連携協定』は、両者に何を生み、どう変えるのか？」

登壇者：福岡県岡垣町長	門司 晋
九州共立大学教授	山田 明
聞き手：元飯塚市教育委員会教育長	森本 精造
九州共立大学名誉教授	古市 勝也

〈登壇者プロフィール〉



●門司 晋 福岡県岡垣町長

岡垣町役場に入庁後、地域づくり課長、総務課長、企画政策室長を歴任したのち、岡垣町副町長に就任。令和3年1月から岡垣町長に就任。「現場主義と対話重視」をモットーに、人口減少・少子高齢化社会の中でも、持続可能なまちづくりに取り組んでいる。



●山田 明 九州共立大学スポーツ学部・大学院スポーツ学研究科教授

地域連携推進センター所長。福岡教育大学大学院、九州大学大学院、米国の大学院にて教育学を研究。福岡県社会教育委員、北九州市社会教育委員、福岡県人権研究所理事、日本生活体験学習学会理事。ライフワークはサービス・ラーニング研究。主著は『サービス・ラーニング研究』（学術出版会）、『「市民性教育」研究』（鳥影社）、『未来を拓くスポーツ社会学』（株みらい）などがある。

〈聞き手〉



●森本 精造 元飯塚市教育委員会教育長

福岡県教育庁社会教育課長、福岡県立社会教育総合センター所長、穂波町教育長、飯塚市教育長、飯塚市青少年教育施設サンビレッジ茜理事長を歴任。穂波町時代、全公立小学校に「子どもマナビ塾」、「熟年者マナビ塾」の導入、飯塚市では「いづか・市民マナビネットワーク」（e-マナビ）など先駆的行政施策の開発を手掛けてきた。退職後は「学童と学校の連携」（学社連携）に奔走。



●古市 勝也 九州共立大学名誉教授

九州共立大学・九州女子大学・同短期大学生涯学習研究センター所長、九州共立大学スポーツ学部教授、九州共立大学地域連携推進室長を経て現職。日本生涯教育学会生涯学習実践研究所福岡センター長、「西日本『生涯学習御学友』ネットワーク」世話人代表、第34回大会から本交流会の代表世話人を務める。

第38回大会開催報告

●大会期日 2019(令和元)年5月18日(土)～19日(日)

●場 所 福岡県立社会教育総合センター

実践研究発表者
司会者及び
県別参加者

中国地区			
県名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
山口	4	0	11
広島	1	1	11
島根	3	2	11
鳥取	3	0	30
岡山	1	0	8
計	12	3	71

中国・四国・九州地区以外			
県名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
東京	0	0	8
大阪	1	0	12
北海道	0	0	1
計	1	0	21

九州地区			
県名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
福岡	5	5	170
佐賀	1	1	23
熊本	2	2	13
大分	1	1	14
宮崎	4	0	13
長崎	2	1	23
鹿児島	3	2	18
沖縄	2	0	7
計	20	12	281

四国地区			
県名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
徳島	1	0	4
愛媛	1	1	6
高知	1	0	3
香川	0	0	1
計	3	1	14

	発表者数	司会者数	参加者数	総参加者数
総計	36	16	387	439

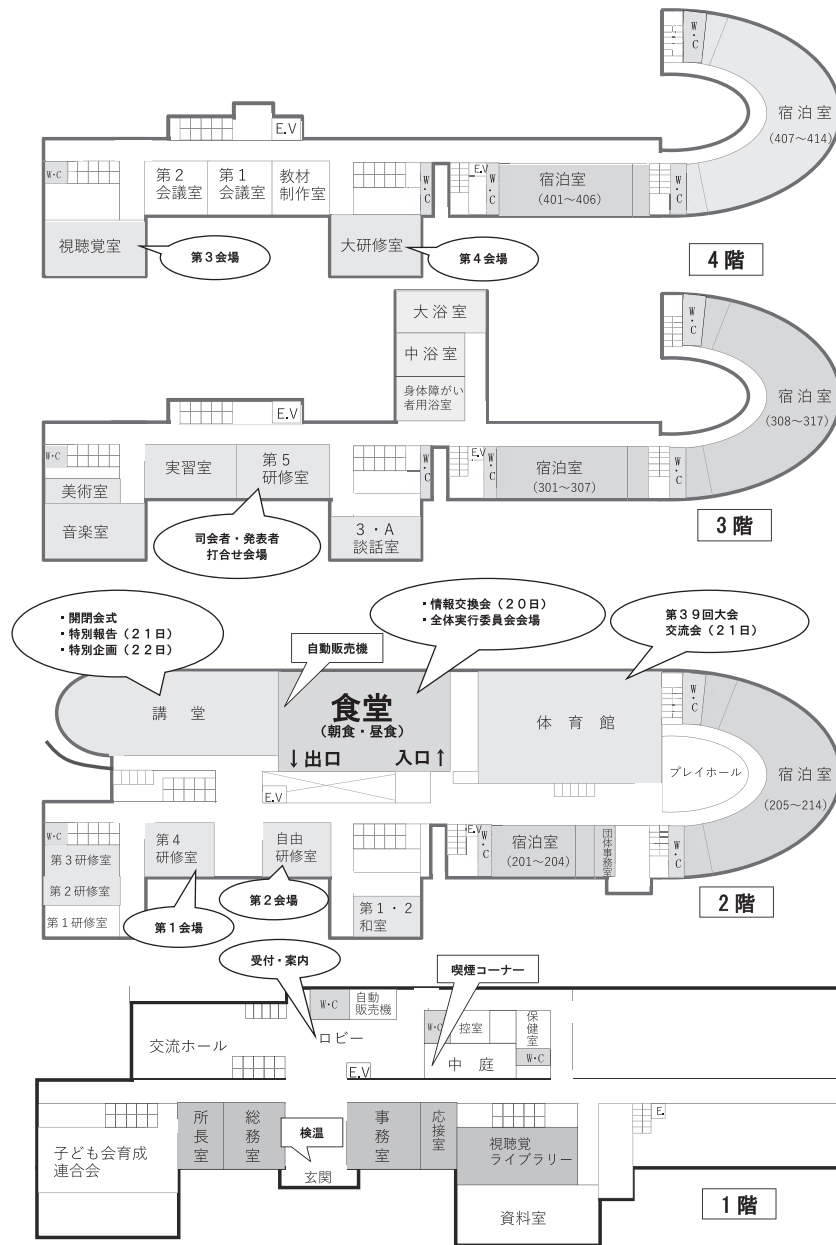
特産品、稀少品ありがとうございました
第38回大会も皆様のご協力により、
たくさんの特産品が集まりました。ありがとうございました。

番号	氏名・団体名(様)	県名	所属名	特産品名
1	古市 勝也	福岡県	九州共立大学	長沢ワイン
2	古市 勝也	福岡県	九州共立大学	本 評伝 長沢鼎
3	井上 杉夫	大分県	大分県警	日本酒「ちえびん」
4	中川 薫	広島県	三次市	三次 ビオーネケーキ
5	榎園 成人	鹿児島県	始良市教育委員会	焼酎 国分黒石岳
6	岡田 正彦	大分県	大分大学	日本酒藤来屋特別純米おひらみ
7	岡田 正彦	大分県	大分大学	あらごしれもん(リキュール)
8	赤田 博夫	山口県	山口ポロポロの会	日本酒 東洋美人 2本セット
9	杉原 潔	広島県		40コのレモン
10	森本 精造	福岡県	一般財団法人サンビレッジ西	玉子
11	椋本 博志	長崎県	教育庁生涯学習課	長崎土産Set
12	田中 時子	山口県	長谷地区ふるさとづくり推進協議会	岩国特産品セット
13	吉留 中原 中島 重田 五反田	鹿児島県	鹿児島県社会教育研究会	本格焼酎 三岳(みたけ)
14	土屋 晴美	長崎県	教育庁生涯学習課	そのぎ茶ティーバッグと1口からすみ
15	入江 雅史	鳥取県	大山町教育委員	大山の恵みセット(こしひかり板わかめ)
16	大下 修一	鳥取県	伯耆町	元祖 因幡の白うさぎ
17	関 弘紹	佐賀県		麦焼酎 舞こごち
18	眞鍋 幸一	愛媛県	国立大洲青少年交流の家	大洲の月窓餅
19	大下 修一	鳥取県	伯耆町	きぬむすめ 3kg
20	観元 真人	徳島県	一般社団法人地域活性化士会	徳島ラーメン 三八
21	観元 真人	徳島県	一般社団法人地域活性化士会	上勝町産乳酸発酵阿波晩茶
22	観元 真人	徳島県	一般社団法人地域活性化士会	阿波 一夜だし膳
23	三浦 清一郎	福岡県	月刊生涯学習通信「風の便り」編集長	ドイツワイン(白)
24	大島 まな	福岡県	九州女子大学	清酒「沖ノ島」
25	三角 幸三	熊本県	CPDFI	大平燕(たいびーえん)
26	田中 恒治	鳥取県	鳥取県教育委員会社会教育課	梨ワイン
27	香月 利都子・英彦	福岡県		若松潮風キャベツ専用ドレッシング
28	香月 利都子・英彦	福岡県		リンゴジュース(かつぱの里)
29	中尾 治司	愛媛県	愛媛のおやし井戸端会議	タルト
30	中尾 治司	愛媛県	愛媛のおやし井戸端会議	ペビー母恵夢
31	佐川 良	愛媛県	愛媛のおやし井戸端会議	城川郷 屋根越えて
32	今井 博志	愛媛県	愛媛のおやし井戸端会議	愛媛 小松のよしの餅
33	山本 美千代	熊本県	菊池市教育委員会	延寿松風
34	井田 博之	鳥取県	日吉津村教育委員会	特別純米酒 八郷(やごう)
35	山本 美千代	熊本県	菊池市教育委員会	お酒 美少年 零
36	井田 博之	鳥取県	日吉津村教育委員会	伯耆(ほうき)のきのこ 2セット
37	井田 博之	鳥取県	日吉津村教育委員会	今川農園 生で食べられる フックコリー

番号	氏名・団体名(様)	県名	所属名	特産品名
38	濱崎 博志	高知県	NPO法人高知県生涯学習支援センター	コースター
39	高橋 昌美	高知県	NPO法人高知県生涯学習支援センター	ジローとタバダ
40	濱崎 博志	高知県	NPO法人高知県生涯学習支援センター	足指黄金糖 ぶちしゅーらすく
41	古戔 智美	熊本県	熊本県教育庁教育事務局	天草タコ街道 たこせんべい
42	東川 絵葉	岡山県	教育庁生涯学習課	岡山の高校生が考えた調味料編
43	紫園 来美	福岡県	オフィスしおん	令和元年クッキー
44	住吉 久美子	鹿児島県	始良市女性団体連絡会	焼酎(山田の凱旋門)
45	處 淳子	愛媛県	愛媛のおやし井戸端会議	よし乃餅
46	湯川 久子	鹿児島県	始良市女性団体連絡会	いも焼酎
47	東川 絵葉	岡山県	教育庁生涯学習課	岡山の高校生が考えたビューティー編
48	東川 絵葉	岡山県	教育庁生涯学習課	岡山県の高校生が考えたスイーツ編
49	五反田 重田 中島 中原 吉留	鹿児島県	鹿児島県社会教育研究会	黒糖焼酎 高倉
50	岡田 直人	埼玉県	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター	川口市バーゴマクッキー
51	柿田 伸一	栃木県	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター	佐野ラーメン
52	五反田 重田 中島 中原 吉留	鹿児島県	鹿児島県社会教育研究会	黒糖焼酎 里の曙
53	五反田 重田 中島 中原 吉留	鹿児島県	鹿児島県社会教育研究会	黒糖焼酎 長雲
54	日高 輝海	宮城県	宮城県中部教育事務所	鳥のささみくんせい
55	峯 恭子	福岡県	北九州市生涯学習課	北九州のおいしいお菓子です
56	林原 田中 池本	鳥取県	大山町教育委員会	木の根まんじゅう
57	松本	長崎県	社社の会	純米酒「飛騨」
58	三戸 祥恵	岡山県	勝央町教育委員会	御前酒まつり酒
59	正留 律雄 川田 裕子	広島県	廿日市市大野子ども体験活動ボランティア活動支援センター	もみじまんじゅう(6個詰め合わせ)
60	富坂 興子	岡山県	勝央町教育委員会	清酒 加茂五葉
61	荒中 健吾	広島県	府中市教育委員会社会教育課	紅白入りカーブ最中
62	大下 真史	鳥取県	南部町教育委員会	鳥取発社会教育の底力ポロシャツL
63	大下 真史	鳥取県	南部町教育委員会	鳥取発社会教育の底力ポロシャツM
64	山下 慶子	長崎県	長崎県教育庁生涯学習課	軍艦島コーヒーand長崎限定一筆箋
65	田中 典子	長崎県	長崎県教育庁生涯学習課	長崎ゆめびわ茶 にゃがさきことはじめ
66	山崎 幸剛	長崎県	長崎県教育庁生涯学習課	寿古珈琲とよりより
67	吉岡 康行	広島県	広島県教育委員会生涯学習課	カー×広島市下水道局コラボバッグハンガー
68	音なご 由紀子	長崎県	生涯学習課	ちよりきびなごりんとうスープほろりん草めん
69	菊川 直美	長崎県	生涯学習課	焼あご 落花生
70	金丸 直樹	長崎県	生涯学習課	キティちゃんのおかし
71	大城 喜江子	沖縄県	(社)まちづくりうらそえ	オリオンビール
72	有志(松田、斉藤、日笠)	広島県	広島県立生涯学習センター	広島 西条の酒 加茂鶴
73	一本木 実香	広島県	広島県教育委員会豊かな心育成健康教育係	新あさひ豆腐 カミンこうや 2セット
74	有志(松田、斉藤、日笠)	広島県	広島県立生涯学習センター	なつみ
75	有志(松田、斉藤、日笠)	広島県	広島県立生涯学習センター	ゆかりペン&ゆかりドリンク
76	松田 愛子	広島県	広島県立生涯学習センター	洋酒ケーキ
77	久保田 真巨	長崎県	佐世保市江迎地区公民館	純米 本陣
78	西村 信彦	鳥取県	鳥取県教育委員会社会教育課	鳥取砂丘 砂たまご
79	渡辺 いづみ	福岡県	北九州市立西門司市民センター	小倉日記
80	福岡 奈美	鳥取県	北栄町生涯学習課	ねぼりっこ
81	大木 由以	東京都	青山学院大学	青学カレー
82	平野 靖博	鳥取県	教育委員会	すなば珈琲 おかしセット
83	安田 隆人	岡山県	浅口市立奇島小学校	ようこそ令和の時代 極聖 純米酒
84	合田 和久	高知県	高知県教育委員会生涯学習課	司牡丹 仁定ブルー
85	豊田 浩司	島根県	益田市社会教育課	純米酒 高津川
86	豊田 浩司	島根県	益田市社会教育課	純米酒 宗味
87	豊田 浩司	島根県	益田市社会教育課	焼酎 雪舟の里
88	宮崎県生涯学習課	宮崎県	宮崎県生涯学習課	ソフトバンクホークススポーツタオル等
89	宮崎県生涯学習課	宮崎県	宮崎県生涯学習課	霧島 本格焼酎
90	宮崎県生涯学習課	宮崎県	宮崎県生涯学習課	トートバッグ 巨人軍キャンプみやざき犬
91	上野 敦子	山口県	井関にここクラブ	「精一杯」日本酒
92	野村 美穂	福岡県	福岡県教育事務所社会教育部	あまおういちごチョコクッキー
93	鈴木 眞理	東京都	青山学院大学	青山学院大学トートバッグ
94	中園 宏	福岡県	福岡教育大学	おかし
95	富田 朋美	佐賀県	佐賀市立開成公民館	日本酒「鍋島」
96	富田 朋美	佐賀県	佐賀市立開成公民館	芋焼酎「魔界へのいざない」
97	富田 朋美	佐賀県	佐賀市立開成公民館	日本酒「鍋島」ひびん
98	谷本 理佐	福岡県	福岡県教育庁教育総務部総務企画課	フレノリーティー「どんたく」
99	谷本 理佐	福岡県	福岡県教育庁教育総務部総務企画課	フィズニーアーカイブスプリントクッキー
100	谷本 理佐	福岡県	福岡県教育庁教育総務部総務企画課	大牟田浪漫菓集
101	谷本 理佐	福岡県	福岡県教育庁教育総務部総務企画課	じゃじゃりこじゃん大牟田稗史
102	清岡 祐二	香川県	香川大学	うどん県さめぎうどん
103	松尾 剛	沖縄県	南風原公民館 南原小学校	勝連城復活プロジェクトグッズ
104	松尾 剛	沖縄県	南風原公民館 南原小学校	映画 DVD
105	松尾 剛	沖縄県	南風原公民館 南原小学校	勝連城復活プロジェクト 泡盛
106	矢田部 敏夫	山口県	美祢市教育委員会	瓦そば
107	原 正彦	福岡県	本社会教育総合センター所長	茅乃舎だし
108	齋木 孝夫	鹿児島県	始良市教育委員会	芋焼酎 おやとさあ
109	福岡県教育庁教育振興部社会教育課	福岡県	福岡県教育庁教育振興部社会教育課	繁樹、沖の島(酒)
110	島居隆浩 高瀬博 園田満康	福岡県	元社会教育総合センター職員	缶ビール 2ケース
111	石橋 伸二	福岡県	元社会教育総合センター職員	日本酒(如水)
112	日高 公徳	福岡県	社会教育総合センター所長	日本酒(白糸)
113	池上 利之	福岡県	元社会教育総合センター副所長	カップラーメン
114	畔柳 達弥	福岡県	元社会教育総合センター職員	ガリガリ君 ビノ(アイスクリーム)
115	上田 哲子	福岡県	福岡県教育振興部長	シャンパン
116	筑豊教育事務所	福岡県	北筑後教育事務所	伊佐美
117	筑豊教育事務所	福岡県	筑豊教育事務所	缶ビール 1ケース
118	宮田 朋美	佐賀県	佐賀市立開成公民館	日本酒「鍋島」
119	田中 みさ子	佐賀県	佐賀市立南川副公民館	佐賀県産のり(西川副産)
120	古市 勝也	福岡県	九州共立大学	西郷どんかすてらさんど
121	正木 遼香	大分県	大分大学高等教育開発センター	ドン・フランシスコ
122	島田 浩一	熊本県	社会教育課	黒糖 ドーナツ棒
123	石津 峰	福岡県	福岡県教育庁教育振興部社会教育課	チロリアン

なお、紙面の都合上、敬称と職名は省略させて頂きました。万一、誤字や脱字、または、記入漏れがありましたときは、御容赦下さいますようお願いいたします。

会場案内図



「ふくおか社会教育ネットワーク」

にて本大会の発表事例は、掲載されます！



その他、福岡県内の社会教育に関するイベント・施設・HPリンクが見られる充実したホームページです。

ホームページアドレス

<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp>

TOPページ
リニューアル
しました！

ぜひ一度
ご覧ください！



福岡県立社会教育総合センター

住所 〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2
TEL 092-947-3512 FAX 092-947-8029